



平成 29 年 12 月 1 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 U M N フ ァ ー マ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 平 野 達 義
(コード番号：4585 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 財 務 部 長 橋 本 裕 之
電 話 0 4 5 - 5 9 5 - 9 8 4 0

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所との 新規アジュバントに関する共同研究範囲拡大に関するお知らせ

当社は、本日、平成 29 年 6 月 26 日付にて締結した国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所（所在地：大阪府茨木市 理事長：米田悦啓、以下、「医薬健栄研」といいます。）との新規アジュバント^{注1}に関する共同研究契約（以下、「本共同研究契約」といいます。）に関し、当社が保有するワクチン候補抗原の対象範囲を拡大することで合意いたしましたので、お知らせいたします。

本共同研究契約は、医薬健栄研が保有する新規アジュバントシーズと当社が保有するワクチン等製造技術を融合し、有効性及び生産性の高い新規ワクチンを創出することを目的として実施するものであり、共同研究の具体的内容は、平成 29 年 6 月 26 日に「国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所との新規アジュバントに関する共同研究契約締結に関するお知らせ」に記載の通り、平成 29 年 7 月より、医薬健栄研が保有する新規アジュバントシーズ群を当社に提供、当社が保有するワクチン候補抗原と組み合わせ、動物における免疫応答の解析により、ワクチンの有効性の評価を行っております。また、合わせて、アジュバント添加によるワクチンの生産性に対する寄与の評価を行っております。

今回、より広範囲に新規ワクチンをはじめとする最先端バイオ医薬品の探索を行うことを目的に、新規アジュバントシーズと組み合わせるワクチン候補抗原の対象範囲を拡大し評価を行うことで合意いたしました。

当社では、抗原、アジュバント、及びデリバリー技術を融合した有効性及び生産性の高いロジカルワクチンを開発・提供することを目指しており、今回の共同研究範囲の拡大は、より有効性及び生産性の高い最先端のバイオ医薬品の開発の推進及び展開に寄与するものと考えております。

注1 アジュバント：ワクチン等の有効性を高めるための免疫増強を目的とする医薬品添加物をいう。

【本件に係る当社業績への影響】

本件による平成 29 年 12 月期業績への影響はありません。

以上

(ご参考)

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所について

- 平成 25 年に閣議決定された「独立行政法人改革に関する基本的な方針」による独立行政法人の見直しの一つとして、独立行政法人医薬基盤研究所と独立行政法人国立健康・栄養研究所を統合し、医薬品と食品等の専門性の融合による総合的な研究を推進する目的で設立された法人であります。
- 設立：平成 27 年 4 月 1 日
- 所在地：大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8
- 理事長：米田 悦啓（よねだ よしひろ）